

教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画

教員養成の目標

比治山大学は、「悠久不滅の生命の理想に向かって精進する」という建学の精神・理念に基づく教育を行っている。この精神・理念は、人間の生命の尊厳性と永遠性を基底として、現在を生きる人間の生命が久遠の過去から連綿と現在に至っていることに感謝し、これを未来永劫に向上発展させるべく、現在を精一杯生きるように精進するということである。

このような精神・理念に基づき、本学は、現代社会において人類の普遍的な営みである文化の継承・創造・発展を日々の生活の中で実践できる豊かな人間性と幅広い教養を持つ人材を育成し、地域社会の発展に貢献することを目的として、昭和41年に比治山女子短期大学を開学し、平成6年には比治山大学（四年制女子大学）を開学した。その後、平成10年に大学院（修士課程）を設置するとともに、男女共同参画社会の実現に貢献できる人材育成を目的として学部、短期大学部ともに共学化した。さらに、平成25年に子ども発達教育専攻科、平成26年には健康栄養学部管理栄養学科を設けた。

比治山大学は、上述の建学の精神・理念及び大学の目的を踏まえて、学校教育の場において地域社会に貢献できる人材を養成するために教職課程を設置している。本学の教員養成の理念・目標は、以下の考え方に基づき、日本だけでなく、世界中の子ども、保護者、社会が強く求めているプロフェッショナルな教員の養成を目指している。

1. 使命感を持った人間性豊かでプロフェッショナルな教員の養成

子どもたち一人一人が、それぞれの夢や目標の実現に向けて自らの人生を切り拓くことができるように、その子どもたちを育成するという、確固たる使命感と信念を持つことのできるプロフェッショナルな教員の養成を行う。

2. 専門性と実践的指導力に優れたプロフェッショナルな教員の養成

教師の仕事は将来、子どもが社会で生きていく「学力・豊かな心・体力」を身につけるのを専門的に導くことである。どの年齢段階の子どもに、何を、どのように教育していくのが自分の使命と仕事であるかという、専門知識を備えた教えの専門家としての能力と共に具体的な実践的指導力を身につけることのできるプロフェッショナルな教員の養成を行う。

3. 日々学び続けるプロフェッショナルな教員の養成

日々根気強く学び続け、これまで教員に不易とされてきた資質能力に加え、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる力を生涯にわたって高めていくことのできるプロフェッショナルな教員の養成を行う。

教員養成の目標を達成するための計画

<言語文化学科>（認定課程：中学校教諭一種免許状（国語））

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学の諸分野に関する基本的な事柄について理解することができる。 ・文学的表現を味わい、文学作品を自分で鑑賞することができる。 ・日本文学に関わる事項について自ら興味を持ち、作品に対する自分の見解を導き出すことができる。 ・教職についての関心を高めるとともに、教職という職業選択についての理解を深めている。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の音韻音声、文字表記、文法、語彙について理解し、知識を身につけている。 ・古典および近代以降の日本文学について、基本的な知識を身につけている。 ・伝達文、説明文、意見文の作成に関する、基本的な知識と技能を修得している。 ・教育の理念、歴史、思想などについての基礎的な理解ができる。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の語彙、表現および言語生活の特徴や、日本語と文化のつながりについて理解することができる。 ・日本語で適切かつ効果的に表現する能力、特に、論理の構成を工夫して文章を書くための技術を身につけている。 ・近代以降の日本文学に表れた価値観や思想、作品特有の表現について深く考察することを通じて、言語文化に対する理解を深めることができる。 ・楷書と楷書に調和する仮名の書き方や両者の配列及び行書の基礎的な書き方を理解して書くことができる。 ・教育相談の意義を理解し、生徒の抱える諸問題に対処できる基本的技法を修得している。 ・国語科教育の基本的な概念、学習指導要領と教科書のしくみを理解することができる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の音韻音声、文字表記、文法、語彙の変遷について理解し、知識を身につけている。 ・意図した内容を相手に伝える力、話し合う力などの基本的な口頭表現力を身につけている。 ・特定の作家の文学作品の分析を通して、文学にみられる特徴的な事象について理解を深めることができる。 ・行書と行書に調和する仮名の書き方や両者の配列及び手書きの価値を理解して書くことができる。 ・日本の教育制度に関する知識を修得し、教育の意義や役割を理解し、現代の教育問題や課題を考察することができる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・指導案の作成方法を理解し、教材分析や授業づくりの方法を理解することができる。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・古典語に関する知識を身につけ、古典語を分析するための基本的な方法を理解することができる。 ・課題意識を持って文献調査や比較分析などに取り組み、研究の基本的な方法を身につけるとともに、日本語について理解を深めることができる。 ・古典および近代以降の日本文学の歴史的な流れや意義について理解を深めることができる。 ・図書館を利用して自ら参考文献を収集し、それを批判的に踏まえつつ、古典や近代以降の文学作品を分析的に読むことによって、日本の言語文化について理解を深めることができる。 ・中国の文学、文化、思想について理解を深めることができる。 ・生徒の年齢発達にともなう心身の発達の様相を理解するとともに、理解する基礎的方法についての知識を修得している。 ・教育課程に関する基本的な知識を修得している。 ・教育の方法と技術について理解している。 ・生徒指導および進路指導の意義や課題を理解し、基本的理論を認識するとともに指導法を修得している。 ・教材分析に基づいて、授業を構想し、指導案に沿って授業を実践することができる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを的確に示し、読み手の関心を引くように表現を工夫することができる。適切なコミュニケーション能力を身につけている。 ・教育実習の目的と目標を理解し、教師として必要な態度、知識、技術を修得している。 ・学校における道德教育の目的および内容と方法について理解を深め、道德教育に関する基礎的な実践力を身に付けている。 ・教材研究に基づき多様な教育技術を用いて国語科の授業を実践し、省察・改善することができる。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代文学における特定のジャンルを選択して探究し、一定の知識を身につけるとともに、その背景にある日本人の思考性や日本文化の特徴について考えを深めることができる。 ・教育実習を通して教師としての資質形成に積極的に取り組む態度と能力を身に付けている。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・4年間の学習を振り返り、必要に応じて学習を補完しながら教員に求められている実践的な指導力を身に付けている。

<言語文化学科>（認定課程：高等学校教諭一種免許状（国語））

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学の諸分野に関する基本的な事柄について理解することができる。 ・文学的表現を味わい、文学作品を自分で鑑賞することができる。 ・日本文学に関わる事項について自ら興味を持ち、作品に対する自分の見解を導き出すことができる。 ・教職についての関心を高めるとともに、教職という職業選択についての理解を深めている。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の音韻音声、文字表記、文法、語彙について理解し、知識を身につけている。 ・古典および近代以降の日本文学について、基本的な知識を身につけている。 ・伝達文、説明文、意見文の作成に関する、基本的な知識と技能を修得している。 ・教育の理念、歴史、思想などについての基礎的な理解ができる。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の語彙、表現および言語生活の特徴や、日本語と文化のつながりについて理解することができる。 ・日本語で適切かつ効果的に表現する能力、特に、論理の構成を工夫して文章を書くための技術を身につけている。 ・近代以降の日本文学に表れた価値観や思想、作品特有の表現について深く考察することを通じて、言語文化に対する理解を深めることができる。 ・楷書と楷書に調和する仮名の書き方や両者の配列及び行書の基礎的な書き方を理解して書くことができる。 ・教育相談の意義を理解し、生徒の抱える諸問題に対処できる基本的技法を修得している。 ・国語科教育の基本的な概念、学習指導要領と教科書のしくみを理解することができる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の音韻音声、文字表記、文法、語彙の変遷について理解し、知識を身につけている。 ・意図した内容を相手に伝える力、話し合う力などの基本的な口頭表現力を身につけている。 ・特定の作家の文学作品の分析を通して、文学にみられる特徴的な事象について理解を深めることができる。 ・行書と行書に調和する仮名の書き方や両者の配列及び手書きの価値を理解して書くことができる。 ・日本の教育制度に関する知識を修得し、教育の意義や役割を理解し、現代の教育問題や課題を考察することができる。 ・指導案の作成方法を理解し、教材分析や授業づくりの方法を理解することができる。

3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典語に関する知識を身につけ、古典語を分析するための基本的な方法を理解することができる。 ・ 課題意識を持って文献調査や比較分析などに取り組み、研究の基本的な方法を身につけるとともに、日本語について理解を深めることができる。 ・ 古典および近代以降の日本文学の歴史的な流れや意義について理解を深めることができる。 ・ 図書館を利用して自ら参考文献を収集し、それを批判的に踏まえつつ、古典や近代以降の文学作品を分析的に読むことによって、日本の言語文化について理解を深めることができる。 ・ 中国の文学、文化、思想について理解を深めることができる。 ・ 生徒の年齢発達にともなう心身の発達の様相を理解するとともに、理解する基礎的方法についての知識を修得している。 ・ 教育課程に関する基本的な知識を修得している。 ・ 教育の方法と技術について理解している。 ・ 生徒指導および進路指導の意義や課題を理解し、基本的理論を認識するとともに指導法を修得している。 ・ 教材分析に基づいて、授業を構想し、指導案に沿って授業を実践することができる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えを的確に示し、読み手の関心を引くように表現を工夫することができる。適切なコミュニケーション能力を身につけている。 ・ 教育実習の目的と目標を理解し、教師として必要な態度、知識、技術を修得している。 ・ 学校における道德教育の目的および内容と方法について理解を深め、道德教育に関する基礎的な実践力を身に付けている。 ・ 教材研究に基づき多様な教育技術を用いて国語科の授業を実践し、省察・改善することができる。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近現代文学における特定のジャンルを選択して探究し、一定の知識を身につけるとともに、その背景にある日本人の思考性や日本文化の特徴について考えを深めることができる。 ・ 教育実習を通して教師としての資質形成に積極的に取り組む態度と能力を身に付けている。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年間の学習を振り返り、必要に応じて学習を補完しながら教員に求められている実践的な指導力を身に付けている。

<言語文化学科> (認定課程：中学校教諭一種免許状 (英語))

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての関心を高めるとともに、教職という職業選択についての理解を深めている。 ・ことばと文化の関係について基本的な事柄を理解している。 ・英語の語彙や文法知識を修得し、簡単な英語を用いて自分の考えを表現することができる。 ・海外経験等を通して、異国の文化、価値観、伝統等を理解している。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念、歴史、思想などについての基礎的な理解ができる。 ・正確な英文や短い文章で自分の意見を表すことができる。 ・英語語彙量を増やし、文法知識をさらに深めている。 ・自他の文化を複眼的・客観的に見る力を育み、共生への理解を深めている。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の意義を理解し、児童・生徒の抱える諸問題に対処できる基本的技法を修得している。 ・外国語科 (英語) における授業づくりの考え方と授業の構成要素について、理解する。 ・英語文学の概要について、知識を身に付けている。 ・英語の語彙を増やし、英語で話したり聞いたりする力を高めている。 ・英語による Eメールの文体や定型表現について理解し、表現することができる。 ・教育課程に関する基本的な知識を修得している。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の教育制度に関する知識を修得し、教育の意義や役割を理解し、現代の教育問題や課題を考察することができる。 ・英語の 4 技能に関する基本的な指導方法を理解し、模擬授業を行うことができる。 ・学校英文法とは異なる文法についての知識がある。 ・英語文学作品について論理的に議論・批評することができる。 ・英語文学の主要テーマを把握し、歴史・文化的観点から英米文学の今日的意義を理解することができる。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の年齢発達にともなう心身の発達の様相を理解するとともに、児童・生徒を理解する基礎的方法についての知識を修得している。 ・総合的な学習の時間や特別活動に関する具体的な知識を修得している。 ・基本的な英語を用いて、考えを表現することができる。 ・教育の方法と技術について理解している。 ・生徒指導・進路指導の意義や課題を理解し、基本的理論を認識するとともに指導法を修得している。 ・英語教授法について内容とともに、その変遷を理解している。 ・学習指導要領を理解し、それに基づいた学習指導案を作成することができる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ICT を活用して模擬授業を行うことができる。 ・海外旅行における基本的な英語表現に慣れ、場面に応じた平易な英語で表現することができる。 ・アメリカ合衆国が多文化共生社会となった歴史的な過程を理解している。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における道德教育の目的と内容・方法について理解を深め、道德教育に関する基礎的な実践力を身に付けている。 ・外国語科（英語）に関する評価の在り方を理解し、学習指導案を作成することができる。 ・技能、領域を統合した単元構成について理解している。 ・教育実習の目的と目標を理解し、教師として必要な態度、知識、技術を修得している。 ・英米児童文学について理解する。 ・英語による E メール の文体や定型表現について理解し、自分の考えを表現することができる。
4 年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習を通して教師としての資質形成に積極的に取り組む態度・能力を身に付けている。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・4 年間の学習を振り返り、必要に応じて学習を補完しながら教員に求められている実践的な指導力を身に付けている。

<言語文化学科> (認定課程：高等学校教諭一種免許状 (英語))

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての関心を高めるとともに、教職という職業選択についての理解を深めている。 ・ことばと文化の関係について基本的な事柄を理解している。 ・語彙や文法知識を修得している。 ・海外経験等を通して、異国の文化、価値観、伝統等を理解している。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念、歴史、思想などについての基礎的な理解ができる。 ・正確な英文や短い文章で自分の意見を表すことができる。 ・語彙量を増やし、文法知識をさらに深めている。 ・自他の文化を複眼的・客観的に見る力を育み、共生への理解を深めている。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の意義を理解し、児童・生徒の抱える諸問題に対処できる基本的技法を修得している。 ・外国語科 (英語) における授業づくりの考え方と授業の構成要素について、理解する。 ・英語文学の概要について、知識を身に付けている。 ・英語の語彙を増やし、英語で話したり聞いたりする力を高めている。 ・英語による E メール の文体や定型表現について理解し、表現することができる。 ・教育課程に関する基本的な知識を修得している。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の教育制度に関する知識を修得し、教育の意義や役割を理解し、現代の教育問題や課題を考察することができる。 ・英語の 4 技能に関する基本的な指導方法を理解し、模擬授業を行うことができる。 ・学校英文法とは異なる文法についての知識がある。 ・英語文学作品について論理的に議論・批評することができる。 ・英語文学の主要テーマを把握し、歴史・文化的観点から英米文学の今日的意義を理解することができる。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の年齢発達にともなう心身の発達の様相を理解するとともに、児童・生徒を理解する基礎的方法についての知識を修得している。 ・総合的な学習の時間や特別活動に関する具体的な知識を修得している。 ・基本的な英語を用いて、考えを表現することができる。 ・教育の方法と技術について理解している。 ・生徒指導・進路指導の意義や課題を理解し、基本的理論を認識するとともに指導法を修得している。 ・英語教授法について内容とともに、その変遷を理解している。 ・学習指導要領を理解し、それに基づいた学習指導案を作成することができる。 ・ICT を活用して模擬授業を行うことができる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・英語文学作品の特徴を理解し、作品について自分の解釈を表現し発表することができる。 ・海外旅行における基本的な英語表現に慣れ、場面に応じた平易な英語で表現することができる。 ・アメリカ合衆国が多文化共生社会となった歴史的な過程を理解している。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語科（英語）に関する評価の在り方を理解し、学習指導案を作成することができる。 ・技能、領域を統合した単元構成について理解している。 ・教育実習の目的と目標を理解し、教師として必要な態度、知識、技術を修得している。 ・英米児童文学について理解する。 ・基本的な英語を用いて、考えを表現することができる。 ・英語による E メール の文体や定型表現について理解し、自分の考えを表現することができる。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習を通して教師としての資質形成に積極的に取り組む態度・能力を身に付けている。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・4年間の学習を振り返り、必要に応じて学習を補完しながら教員に求められている実践的な指導力を身に付けている。

<子ども発達教育学科> (認定課程：幼稚園教諭一種免許状)

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職の意義や教員の役割、職務内容について理解している。 ・保育内容の構成についての基礎的な知識を修得している。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念、歴史、思想等について理解している。 ・領域（健康）の基礎的な知識・理解及び技能を修得している。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児理解の理論と方法について理解している。 ・領域（表現）に関する知識・理解及び技能を修得している。 ・領域（健康）の指導法の基礎を理解し、指導実践ができる。 ・教育実習の意義、目的、内容を理解し、教育実習に臨む構えができている。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心身の発達及び学習の過程について理解している。 ・教育の制度的、経営的事項について理解している。 ・保育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む）について理解している。 ・教育の方法及び技術について理解している。 ・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法について理解している。 ・領域（言葉）に関する知識・理解及び技能を修得している。 ・領域（表現：音楽分野）の指導法の基礎を理解し、指導実践ができる。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の意義や方法、理論に関する知識、方法等を修得している。 ・領域（人間関係）に関する知識・理解及び技能を修得している。 ・領域（環境）に関する知識・理解及び技能を修得している。 ・領域（言葉）の指導法の基礎を理解し、指導実践ができる。 ・領域（表現：造形分野）の指導法の基礎を理解し、指導実践ができる。 ・幼稚園における観察・参加・指導実習を通して、幼児への理解を深めるとともに、幼稚園教諭の職務について理解し、指導のための基礎的実践力を身に付けている。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする幼児に対する支援について理解している。 ・領域（人間関係）の指導法の基礎を理解し、指導実践ができる。 ・領域（環境）の指導法の基礎を理解し、指導実践ができる。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園における観察・参加・指導実習を通して、幼児や幼稚園教育への理解を深めるとともに、幼稚園教諭としての実践力を更に修得し定着している。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての使命感や責任感、コミュニケーション能力、人間関係力や子ども理解力等を身に付けている。

<子ども発達教育学科> (認定課程：小学校教諭一種免許状)

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職の意義や教員の役割、職務内容について理解している。 ・教科（国語・生活・音楽・体育）についての基礎的な知識・理解及び技能を修得している。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念、歴史、思想等について理解している。 ・教科（社会・算数・理科）についての基礎的な知識・理解及び技能を修得している。 ・教科（音楽・体育）に関する知識・理解及び技能を修得している。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教科（国語・算数・音楽）の指導法についての基礎的理解の上で指導実践ができる。 ・教育実習の意義、目的、内容を理解し、教育実習に臨む構えができています。 ・教科（図画工作・家庭・外国語）についての基礎的な知識・理解及び技能を修得している。 ・教科（国語・社会・算数・理科・生活）に関する知識・理解及び技能を修得している。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の心身の発達及び学習の課程を理解している。 ・教育に関する制度的、経営的な事項について理解している。 ・教育の方法及び技術について理解している。 ・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法について理解している。 ・道徳の指導法についての基礎的理解の上で指導実践ができる。 ・教科（社会・図画工作・家庭）の指導法についての基礎的理解の上で指導実践ができる。 ・教科（図画工作・外国語）に関する知識・理解及び技能を修得している。 ・理科実験に関する知識・理解及び技能を修得している。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の意義や編成方法（カリキュラム・マネジメント含む）について理解している。 ・特別活動の指導法について理解している。 ・教育相談の理論及び方法について理解している。 ・教科（理科・生活・体育・外国語）の指導法についての基礎的理解の上で指導実践ができる。 ・総合的な学習の時間の指導法について理解している。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の理論及び方法について理解している。 ・特別な支援を必要とする児童に対する支援について理解している。 ・小学校における観察・参加・指導実習を通して、児童への理解を深めるとともに、小学校教諭の職務について理解し、指導のための実践力を身に付けている。

4年次		・教員としての使命感や責任感、コミュニケーション能力、人間関係力や子ども理解力等を身に付けている。
-----	--	---

<管理栄養学科> (認定課程：栄養教諭一種免許状)

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションリテラシーとして、日本語及び英語のコミュニケーション基礎力とICT活用のための基礎的知識、スキルを修得する。 ・栄養管理に関する基礎的知識を修得する。 ・栄養教育の意義や内容、方法に関する基礎的理解が出来ている。 ・調理学の基礎的知識及びスキルを習得している。 ・教職の意義について基礎的理解ができています。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養管理に関する理解が定着している。 ・栄養教育に関する基礎的指導法を修得している。 ・食品調理に関するスキルが定着している。 ・教育の理念、歴史、思想等についての基礎的理解ができています。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の構造についての基礎的理解ができています。 ・食品学に関する基礎的知識を修得している。 ・臨床栄養に関する基礎的理解ができています。 ・給食経営管理に関する基礎的理解ができています。 ・教育相談の意義や方法等に関する基礎的知識、方法等を修得している。 ・特別支援教育の理念や基本的な考え方が理解できています。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・給食経営管理に関する理解が定着している。 ・食品加工に関する基礎的理解ができています。 ・日本の教育制度について基礎的理解ができています。 ・教育基本法について基礎的理解ができています。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・各種疾病の状態と原因、治療法等に関する基礎的理解ができています。 ・臨床栄養に関する理解が定着している。 ・公衆栄養に関する基礎的理解ができています。 ・児童生徒の心身の発達の理解ができています。 ・児童生徒に対する栄養指導の基礎的知識を修得している。 ・生徒指導に関する基礎的理解ができています。 ・特別活動、総合的な学習の時間の指導法が理解できています。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・給食経営管理の方法等に関する理解ができています。 ・公衆衛生に関する基礎的理解ができています。 ・公衆栄養に関する理解が定着している。 ・児童生徒に対する栄養指導の基礎的実践力を身に付けています。 ・道徳指導に関する基礎的理解ができています。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士に求められる基礎的知識、技術を修得している。 ・栄養教諭としての児童、生徒に対する実践的指導力の基礎を身に付けています。

	後期	<ul style="list-style-type: none">・児童、生徒に対する栄養指導に関する実践的指導力が定着している。・教師としての使命感、倫理感を身に付けている。
--	----	--

<子ども発達教育専攻科> (認定課程：小学校教諭専修免許状)

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	・ 学士課程段階で修得した教員としての基礎的な資質能力を発展させ、小学校教育の実践現場における諸課題、特に児童・生徒の理解、学級経営、教育課程及び国語・算数・理科を中心とした教科指導に関して、深く理解している。
	後期	・ 学士課程段階で修得した教員としての基礎的な資質能力を発展させ、小学校教育の実践現場における諸課題、特に児童・生徒の理解、生徒指導及び各教科等指導に関して、その解決に向けた実践力を身に付けている。

<幼児教育科>（認定課程：幼稚園教諭二種免許状）

各段階における到達目標

年次	時期	到達目標
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する基本的概念、歴史及び思想、制度的事項に関して理解するとともに、地域連携及び学校安全に関する基本的知識を身につける。 ・教職の意義や、教員の資質能力・職務内容を理解し、教職への意欲を高める。 ・保育内容の健康、言葉、表現の各領域におけるねらい及び内容について、その他の領域との関連を含めて理解している。 ・幼児の音楽表現活動の指導に必要な読譜力、演奏法及び歌唱法に関する基礎的知識・技能を身につける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心身の発達や学習の過程に関する知識を修得し、心理的特性を踏まえた指導の基礎を理解している。 ・教育課程の意義や編成方法に関する知識を修得し、カリキュラム・マネジメントの意義を理解している。 ・保育内容の人間関係、環境の各領域におけるねらい及び内容について、その他の領域との関連を含めて理解している。 ・保育内容の健康、言葉、表現の各領域について、その他の領域と関連させながら、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。 ・幼児の音楽表現活動に必要な読譜力、演奏法及び歌唱法に関する知識・技能を身につける。 ・幼稚園における部分指導実習において、計画を立案し、指導できる。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する適切な方法や技術に関する知識を修得し、情報機器及び教材の活用に関する知識・技能を身につける。 ・保育内容の人間関係、環境の各領域について、その他の領域と関連させながら、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。 ・音楽、身体、造形表現に関する知識・技能を生かした指導方法を身につける。 ・特別の支援を必要とする幼児の困難を理解し、関係機関等と連携しながら他応するための知識や支援方法を理解している。 ・カウンセリングの意義や理論に関する基礎的知識を基に、個々の幼児の特質や課題を適切に捉え、支援するために必要な知識を身につける。 ・幼稚園における全日指導実習において、幼児の生活に即した保育を計画し、指導できる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の生活や遊びの実態をとらえるための理論を理解し、適切な方法で実践することができる。 ・音楽、身体、造形表現に関する知識・技能を生かした指導を計画・実践し、評価・改善することができる。 ・幼稚園での指導実習を通して、実践的指導力を身につける。 ・教師に求められる資質能力を理解し、自己の能力を評価する方法を身につけ、適切に改善・向上させることができる。

<総合生活デザイン学科>（認定課程：中学校教諭二種免許状（家庭））

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての関心を高めるとともに、教職という職業選択についての理解を深めている。 ・調理実習に関する基礎的な知識や技術を修得している。 ・被服製作実習に関する基礎的な技術を修得している。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念、歴史、思想などについての基礎的な理解ができる。 ・家庭科の目標・内容を理解し、指導内容・指導方法、評価に関することを学習し、家庭科の実践的な指導力を修得している。 ・被服製作実習に関する技術を修得している。 ・保育学に関する知識や保育実習に関する理解を身に付けている。 ・食文化を知り、食生活の重要性（栄養素の働き）を理解し、健康な生活を営むことができる。 ・住居学・インテリアに関する基礎的な技術を修得している。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程に関する基本的な知識を修得している。 ・教育相談の意義を理解し、生徒の抱える諸問題に対処できる基本的技法を修得している。 ・道徳教育に関する基礎的な理解ができている。 ・生徒の年齢発達にともなう心身の発達の様相を理解するとともに、生徒を理解する基礎的方法についての知識を修得している。 ・教育の方法と技術について理解している。 ・指導案の作成方法を理解し、教材分析や授業づくりの方法を理解することができる。 ・教育実習を通して教師としての資質形成に積極的に取り組む態度・能力を身に付けている。 ・調理と関連して、食品に関する知識・理解を身に付けている。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の教育制度について基礎的な理解ができている。 ・生徒指導・進路指導の意義や課題を理解し、基本的理論を認識するとともに指導法を修得している。 ・2年間の学習を振り返り、必要に応じて学習を補完しながら教員に求められている実践的な指導力を身に付けている。 ・家族関係に関する理解が定着している。 ・生活経営学についての基礎的な理解ができている。

<美術科> (認定課程：中学校教諭二種免許状 (美術))

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての関心を高めるとともに、教職という職業選択についての理解を深めている。 ・絵画、立体、デザイン、工芸、映像、マンガの制作を行うことで美術の基礎的な技術を修得している。 ・コンピュータによる画像処理ソフトであるフォトショップの基礎的な技術を修得している。 ・現代の美術の源流である近世までの西洋美術の流れを理解し、美術とそれが誕生する背景との関係を認識している。 ・美術の基本的な要素である色彩に関心をもち、その基本的な知識を理解している。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念、歴史、思想などについての基礎的な理解ができる。 ・美術科の目標・内容を理解し指導内容・指導方法・評価に関する事を学習し美術科の実践的な指導力を修得している。 ・コンピュータによる画像処理ソフトであるイラストレーターの基礎的な技術を修得している。 ・近世までの日本美術の流れと特質を理解し、時代背景や大陸との関わりについて認識することで、日本美術の美を実感し、その価値を認識している。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程に関する基本的な知識を修得している。 ・教育相談の意義を理解し、生徒の抱える諸問題に対処できる基本的技法を修得している。 ・道徳教育に関する基礎的な理解ができている。 ・生徒の年齢発達にともなう心身の発達の様相を理解するとともに、生徒を理解する基礎的方法についての知識を修得している。 ・教育の方法と技術について理解している。 ・指導案の作成方法を理解し、教材分析や授業づくりの方法を理解することができる。 ・教育実習を通して教師としての資質形成に積極的に取り組む態度・能力を身に付けている。 ・選択した分野の作品制作を行うことで、専門的な基本技術や知識を修得している。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の教育制度について基礎的な理解ができている。 ・生徒指導・進路指導の意義や課題を理解し、基本的理論を認識するとともに指導法を修得している。 ・2年間の学習を振り返り、必要に応じて学習を補完しながら教員に求められている実践的な指導力を身に付けている。

<現代文化専攻>（認定課程：中学校教諭専修免許状（国語））

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育における「書くこと」の課題を理解するとともに、実践や学習者の反応を分析し評価する方法を理解することができる。 ・日本語表現とその背景にある日本文化の本質を探究し、日本語観や日本文化観を持つことができる。 ・古典語の研究方法を理解し、複数の資料を用いて、テキストを精読することができる。 ・古典文学作品の背景にある文化を理解するとともに、古典文学作品を的確に読解し、研究方法を理解することができる。 ・作品や資料の分析などの近現代文学の研究方法を理解し、主体的に作品を鑑賞、批評することができる。 ・近代以降の文学作品を文学理論に基づいて分析し、言語文化について深く探究することができる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育における「読むこと」の課題を理解するとともに、資料や学習者の反応を分析し評価する方法と、指導改善の方法を理解することができる。 ・日本語表現とその背景にある特定の日本文化を理解し、その理解を実生活で応用することができる。 ・古典語の研究方法を修得し、複数の資料を用いて根拠を示しながら、テキストを精読することができる。 ・古典文学作品を深く理解することを通して、当時の日本文化の特質を把握することができる。また、古典文学作品の分析や、それに基づく考察の仕方など、研究方法を修得している。 ・近現代文学史を深く理解するとともに、近現代文学の研究方法を理解し、作品を鑑賞、批評することができる。 ・日本および外国における文学理論に精通し、日本文学作品の分析に応用することができる。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育における実践的な課題を明確にし、実践的な教育資料と専門文献の分析や講読を通して、教育実践の研究方法を理解することができる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育における実践的な課題を解決する指導計画、指導方法を明らかにするとともに、教育実践を評価し、改善する方法を理解することができる。

<現代文化専攻> (認定課程：高等学校教諭専修免許状 (国語))

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育における「書くこと」の課題を理解するとともに、実践や学習者の反応を分析し評価する方法を理解することができる。 ・日本語表現とその背景にある日本文化の本質を探究し、日本語観や日本文化観を持つことができる。 ・古典語の研究方法を理解し、複数の資料を用いて、テキストを精読することができる。 ・古典文学作品の背景にある文化を理解するとともに、古典文学作品を的確に読解し、研究方法を理解することができる。 ・作品や資料の分析などの近現代文学の研究方法を理解し、主体的に作品を鑑賞、批評することができる。 ・近代以降の文学作品を文学理論に基づいて分析し、言語文化について深く探究することができる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育における「読むこと」の課題を理解するとともに、資料や学習者の反応を分析し評価する方法と、指導改善の方法を理解することができる。 ・日本語表現とその背景にある特定の日本文化を理解し、その理解を実生活で応用することができる。 ・古典語の研究方法を修得し、複数の資料を用いて根拠を示しながら、テキストを精読することができる。 ・古典文学作品を深く理解することを通して、当時の日本文化の特質を把握することができる。また、古典文学作品の分析や、それに基づく考察の仕方など、研究方法を修得している。 ・近現代文学史を深く理解するとともに、近現代文学の研究方法を理解し、作品を鑑賞、批評することができる。 ・日本および外国における文学理論に精通し、日本文学作品の分析に応用することができる。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育における実践的な課題を明確にし、実践的な教育資料と専門文献の分析や講読を通して、教育実践の研究方法を理解することができる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育における実践的な課題を解決する指導計画、指導方法を明らかにするとともに、教育実践を評価し、改善する方法を理解することができる。

<現代文化専攻>（認定課程：中学校教諭専修免許状（英語））

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育について高度な知識と技能を身に付けている。 ・英語の多様性を理解し、ことばと歴史・文化・社会の関係を分析的・論理的に把握することができる。 ・英語の構造についての理論を理解しつつ、日常的な話題から専門的話題まで、自分の意見を状況や場面に応じた英語で表現できる。 ・欧米言語芸術について高度な知識を修得し、作品を論理的に批評することができる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育について高度な知識と技能を修得し、実践的指導力を高めることができる。 ・英語の多様性を理解することを通して、歴史・文化・社会の観点から、現代世界の様々な問題を読み解くことができる。 ・英語の構造を理論的・分析的に理解しつつ、英語の読解力を高め、自分の意見を構造化された英語で表現できる。 ・欧米言語芸術についてさらに高度な知識を修得し、作品批評を論理的に行うことができる。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育における実践的な課題を明確にし、実践的な教育資料と専門文献の分析や講読を通して、教育実践の研究方法を理解することができる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育における実践的な課題を解決する指導計画、指導方法を明らかにするとともに、教育実践を評価し、改善する方法を理解することができる。

<現代文化専攻> (認定課程：高等学校教諭専修免許状 (英語))

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育について高度な知識と技能を身に付けている。 ・英語の多様性を理解し、ことばと歴史・文化・社会の関係を分析的・論理的に把握することができる。 ・英語の構造についての理論を理解しつつ、日常的な話題から専門的話題まで、自分の意見を状況や場面に応じた英語で表現できる。 ・欧米言語芸術について高度な知識を修得し、作品を論理的に批評することができる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育について高度な知識と技能を修得し、実践的指導力を高めることができる。 ・英語の多様性を理解することを通して、歴史・文化・社会の観点から、現代世界の様々な問題を読み解くことができる。 ・英語の構造を理論的・分析的に理解しつつ、英語の読解力を高め、自分の意見を構造化された英語で表現できる。 ・欧米言語芸術についてさらに高度な知識を修得し、作品批評を論理的に行うことができる。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育における実践的な課題を明確にし、実践的な教育資料と専門文献の分析や講読を通して、教育実践の研究方法を理解することができる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育における実践的な課題を解決する指導計画、指導方法を明らかにするとともに、教育実践を評価し、改善する方法を理解することができる。